

特定非営利活動法人

明るいシステム倶楽部 会報3月号

令和4年3月1日

(2022年)

本会報が皆様のお手元に届くのは、桃の節句の頃でしょうか。
春の兆しは、少しずつ近づきつつあるのかもしれませんが、今年の冬は全国的に冷え込む日々も多く、積雪地帯には例年になく大雪をもたらしているようです。

翻って、オミクロン株による感染は、ステルス型を含めて全国的に新規陽性者数の高止まり傾向が続く傾向にあり、京阪神4府県を含む全国31都道府県において、蔓延防止等重点措置が3月6日まで延長されました。一方で、沖縄県を含む5県は、2月20日をもって措置が解除されました。政府及び自治体等の施策がどれだけ功を奏するのか不透明な中で、今暫くは、日頃の感染防止対策に加え、自らが免疫力の維持に努める必要もありそうです。

なお、当倶楽部は、毎月開催している臨時役員会議の結果を受け、AKS0041 認証企業に対して、もっと日頃から交流を深める必要があると判断し、各役員を担当制にして今月から手分けして順次活動開始することとしました。是非、当会員に留まらず、当該企業と倶楽部との繋がりも密に、意義あるものにしたいと役員一同気持ちを新たにしております。

どうぞ、会員の皆様に置かれましても一層の応援の程よろしくお願いいたします。

< 3月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 3月号
- ② ビープラッツプレス 最新号
- ③ 年会費ご納入のお願い (該当者のみ)



< 3月の活動予定 >

3/5(土) 気楽な ZOOM サロン(16)	当倶楽部会員専用の交流の場です。	20:00~21:30
3/16(水) 臨時役員会議(21)	「令和4年度の活動計画」	13:30~14:45
3/16(水) 明るいシステム検討会議(4)	「AKS 認証企業への活動状況」	15:00~16:15
3/17(木) 仏教雑学講座	河本 雪夫 会員	17:30~19:30

(注) 仏教雑学講座につきましては、曜日の変更にご留意ください。

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

3/9(水) 菊池教室(14)	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
3/23(水) 柴原・松居教室(7)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30
3/26(土) 宮崎教室	「もやもや解決法」	20:00~21:30

—— 裏（うら）を読んでみる。 ——

高村 和義

今回は、「裏」という一見妙なタイトルですが、筆を進めることにします。

近年、新聞やテレビ等を見ていて、その報道内容が本当に事実や科学的根拠等に基づいて、正確に報道されているのかと思うことがよくあります。

こうしたことは政治報道を含め多岐にわたりますが、昨今話題の一つとして、コロナ禍を例にとってお話ししたいと思います。専門家ではありませんが、私見に少しお付き合い下さい。

まず一番疑問に思うことは、未だに新型コロナウイルス感染症において、各種報道では「感染者」という言葉が毎日のように巷を飛び交っています。しかしながら、厚生労働省のホームページでは「(PCR検査)陽性者」と記載されており、この用語は本来意味する「感染者」とは違うものです。どうもマスクの影響が大きく、多くの方々が「検査陽性=感染」と受け取るきらいがあります。

政府や自治体が、今後の施策において感染拡大状況やピークアウト等を基本的要素として重要視しながら、何故このことを放置しているのか大きな疑問です。(最近では病床使用率に比重が移る。)

穿った考え方をすれば、政府は、感染者数を大きく捉え、国民に過度の恐怖心を植え付け、感染を限りなく抑えないと社会経済活動が止まると考えているように映ります。国内における感染発生の当初はともかくコロナ禍が丸二年経過した現在、未だに同様な施策を講じていくのは本来のコロナ対策を実施する上で、基本的な間違いを今後もやり続けることになりかねません。

要は、医療逼迫問題を解消し、「発症者は何時でも医療を受けられる」状況を確保することです。当然ですが、その中には新型コロナウイルス感染症を感染症法の5類へ変更する等を含みます。

さて、ここで、陽性者と感染者の違いについて下記のシンクタンク (※) 資料から紐解きます。

- ・ PCR 陽性者；あくまでも、新型コロナウイルスの遺伝子の一部を繰り返し培養し、見つければ陽性と判定するのみ。Ct 値 (増幅回数) は 35 回以下が適正。日本では回数が多く不適。(45 回までの他、民間では 50 回までの例もある。) このため、却って陽性者を増やす結果となる。
- ・ 感染者；発症に至らず無症状の場合、免疫系がウイルス病態を抑制しているが、感染リスクの程度は実証が必要。(若干、専門用語が多く恐縮です。)

上記二者の間には「新型コロナウイルスに暴露」という段階があり、鼻腔や口腔にウイルスが付着している状態ですが、免疫力で細胞内への侵入を防いでいる段階と言えましょう。

もう少し病気の進行面から俯瞰しますと、下記のようになるかと思えます。

PCR検査陽性 ⇒ ウイルスに暴露 ⇒ 感染 (無症状) ⇒ 発症 ⇒ 重症化 ⇒ 死亡

このことを改めて眺めると、「陽性者=感染者ではない」ことがわかりますし、「無症状の感染者は発症者ではない」ことも理解しやすくなるかと思えます。

なお、PCR検査が新型コロナウイルス感染症の検査に適するかの議論詳細等は割愛します。



強調したいのは、政府等がいつまでも不正確な表現の「感染者数」をベースにするのではなく、「発症者」に力点を置いた医療体制の確立ではないかと思えます。このままでは、どうみても誤った方向に舵を切り続けてしまい、国民の命と健康を守る上でこれ以上見過ごせないと思えます。

(※) シンクタンク；松田政策研究所チャンネル「新型コロナの日本の現状」の一部を参考抜粋。